

オリンピック・パラリンピック教育推進事業開催

2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツの価値を学び、オリンピック・パラリンピックへの興味や関心を高めることやオリンピックを目指すアスリートとの交流により、努力や目標を持つことの大切さを学び、日常の生活や学習に生かそうとする態度を育てることを目的として、本校1年生、2年生を対象にオリンピック・パラリンピック教育推進事業が水海道二高の体育館で開催されました。

ハンドボール競技の筑波大学体育系 助教 藤本 元先生を講師としてお招きし、世界学生選手権に日本代表として出場した筑波大学の3選手、田中 圭選手、森永 浩壽選手、山口 勇樹選手の模範プレイを交えながら、ハンドボールやスポーツの素晴らしさや魅力について、日本のトップや世界のプレイなどから具体的な映像をもとにお話をいただきました。また、大学生による高いレベルの実技や中学生も一緒になってのゲームや交流活動は全生徒が目輝かせて意欲的に活動することができました。更に学生から体験談として、これまでの選手生活の喜びや苦悩、学んだことなどを目を輝かせて聴き、生徒たちはアスリートの努力や苦勞、喜びと成長など多くのことを学ぶことができました。

また、当日は、茨城県教育委員会 江原 陽子 教育委員、常総市教育委員会 間中 芳子 指導主事にも会場にお越しいただき、本校生徒の活動の様子をご参観いただきました。

